

「創造的な摩擦」を生み出せる 雰囲気づくり

コンサルタント兼コーチとして活躍するティム・カイト氏が投稿した、とあるソーシャルメディアのコメントを目にした。直接お会いしたことはないが、ここでカイト氏が述べていた実践的な考えに、わたしは大いに共感を覚えた。カイト氏は「創造的な摩擦、一 言い換えれば、同意しない価値」の力について述べていた。

続けてこうも述べてあった。「私たちが違う視点を持ち、私たちのアイデアを精査したりテストするためにその創造的摩擦を取り入れれば、さらに良い解決方法を生み出すことができる。」カイト氏の視点は、古くもあり、また、新しくもある。特に、私たちが生きる今の時代のように、私たちが議論の芸術性を放棄、または無視したりするような時代においては。

たとえば、多くの大学や短期大学では、生徒たちが自分とは違う視点の意見を見たり聞いたりすることで、恐れをいただくことなく、それを回避することができる“セーフゾーン”を作り出している。自分たちの意見やアイデアがチャレンジされることなしに、果たしてそれが学びと言えるだろうか？世界中で起こった暴動に便乗した反対者たちのように、誰もが声を張り上げ、しかも時には叫び、誰も相手側の話を聞こうとしなかったのも、このことにおける一つの証拠である。

新型コロナウイルスの大流行の最中でも、様々な意見や見解が出てきた。だが、メディアや政治家たちは、多くの異なったアイデアを称賛して自由にアイデアを交換できるようにしたというよりも、むしろ、それらの意見を非難するばかりであった。そしてこれは、全人類にとっての損失になったわけである。「創造的な摩擦」は、まるでよそ者のような

概念として認識され、受け入れるべきではなく恐れるべき何かであると思われるのである。

たとえば私がカイト氏の用いる用語に詳しくなかったとしても、私はこのようなタイプの摩擦というものに価値を置いている。特に、私が新聞と雑誌の編集をおこなっていた数年間においてはそうであった。次の号をどうするか話し合う編集チームの会議内で、私たちにはそれぞれ異なったアイデアがあった。私たちは、個人が持ってきた案をプレゼンさせ、話し合いと議論を重ねた。そして、このプロセスを通して、それぞれの部分をただ足してできた作品（個々による貢献）よりも、このような議論を重ねてできた作品の方が全体的に常に良いものであるということを発見した。

創造的摩擦が特に斬新なアイデアではないため、多くの環境で支持されていないことは大変悲しいことである。だがこれは、聖書でも強く支持されている点であることをお伝えしておきたい。続く聖書箇所を参照してほしい。

◆摩擦は、双方にとって有益である

「鉄は鉄によってとがれ、人はその友によってとがれる。（箴言 27 章 17 節）」想像してみてほしい。2つのナイフの刃をあわせることで、それぞれが鋭く研がれる。同じことが人間にも言える。職場であれ、結婚であれ、ミニストリーであれ、スポーツチームであってもだ。穏やかな話し合いであったとしても、互いに摩擦しあうことで、お互いをよりよくすることができるのである。

◆異なった視点に価値を置く

「軽々しく訴えて出るな。そうでないと、あとになって、あなたの隣人があなたに恥ずかしい思いをさせたとき、あなたはどのようにするのか。（箴言 25 章 8 節）」裁判のケースで言えば、裁判官や裁判員がより詳しく正確な情報を得ることができるように、数多く

の証人が証言台に立たされる。似たような観点でいえば、私たちは自分たちの意見や視点が正しいと確信しているかもしれないが、もし私たちが周囲の人の声に耳を傾けるのであれば、私たちは自分が間違っていると気づくかもしれない。または、最も良い解決法というのは、様々なアイデアの組み合わせであるかもしれない。

◆修正は役立つ場合がある

「知恵のある叱責は、それを聞く者の耳にとって、金の耳輪、黄金の飾りのようだ。(箴言 25章 12節)」プライドは、私たちが成功を追求する上で大きな障害となる可能性がある。特に、思考であれ行動であれ、自分が正しいと確信しているときにはなおのこと。「創造的な摩擦」は、多少の痛みを引き起こす可能性があるが、最終的にはこのことによって自分自身の状態が良くなっていることに気づくのである。

もっと深めるために：

1. 「創造的な摩擦」に対するあなたの理解を、ご自身の言葉で表現してみましょう。

2. 建設的な意見の相違というものが、ポジティブで生産的に行われたことを見た事がありますか？その時の状況を説明ください。

3. 反論の自由も与えるような様々なアイデアの意見交換を、許可したり推奨したりすることが多くの場合嫌がられるのはなぜだと思いますか？

4. あなたの職場で「鉄は鉄によってとがれる」ことが実践されるのを見たことがありますか？この実践例をお答えください。

参考聖書箇所リストです。参照ください：

ヨシュア 2:1、箴言 10:19-21、12:14,18、マルコ 6:7、フィリピ 4:9、Ⅱテモテ 2:2

この発行はロバート・タマシー氏によって書かれた物です。月曜日のマナ®は CBMC より毎週発行しているメールマガジンであり「ビジネスとマーケットプレイスをキリストに」の世界的働きで、利益を求める活動では無く、超教派で、1930 年に創立され、各業界で働いている従業員、又、経営者ヘイエス・キリストを宣べ伝える事を目的としています。